



いいおかつこ

【校訓】素直に たくましく

旭市立飯岡小学校
学校だより 第8号
令和4年9月 2日

学校に元気の良い子ども達の声が戻ってきました。42日間の夏休みは、いかがでしたか。今年の夏は、感染症の再拡大が全国的に広がったり、気温30度以上の危険な暑さが続いたり、子どもたちの健康状態を大変心配しておりました。

しかし、昨日の全校集会で元気な「いいおかつこ」の笑顔を見ることができ、安心しました。今後も感染対策に留意しながら、子どもたちとともに楽しい思い出をたくさんつくっていきたいと思います。

引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

9月1日「防災の日」

昨日の全校集会で「防災の日」について話をしました。まず、子どもたちに「なぜ、9月1日が防災の日なのか？」を問いかけてみました。低学年には難しい質問でしたが、高学年の中に由来について知っている児童がいて驚きました。

防災の日は、1923年(大正12年)に発生した関東大震災にちなみ、「台風、高潮、津波、地震等の災害について認識を深め災害に対処する心構えを準備する」として制定されました。また、例年8月31日、9月1日付近は台風の襲来が多いとされ、「災害への備えを怠らないように」という願いも込められているそうです。

本校でも、夏季休業中に大雨の際、大きな水たまりができていた正門前と駐車場の舗装工事を行いました。また、強風により樹木の枝が折れたり、電線に影響を与えたりしないように伐採を行いました。そして、10月には大津波の襲来に備え、3年ぶりに高台避難訓練を実施する予定です。

「飯岡ライオンズクラブ 様」「町の有志 様」から
寄贈いただきました。大切にに使わせていただきます。

飯岡ライオンズクラブ 様

鉄棒の逆上がり練習で使用する「逆上がり補助板」をいただきました。ありがとうございました。



町の有志 様

運動会の人気競技、「大玉転がし」で使用する「紅白の大玉」をいただきました。ありがとうございました。



旭市子ども議会開催 7月26日(火)

本校から6年生の さんが子ども議員として一般質問を行いました。質問内容は、「コロナ禍の避難所生活について」です。質問の要旨を紹介します。

私はみんなが災害への関心をもっている旭市になってほしいと願っています。私が住んでいる旭市は、11年前、津波や地震で大きな被害を受けました。大きな災害が発生した際は、みんなが避難所で身を寄せ合って夜を共にすることになります。

しかしコロナ禍の今、災害があった際の避難所生活に不安を抱える人たちもいるのではないのでしょうか。避難することに焦ってマスクを忘れてしまったり、大人数の中で着替えることに抵抗を示したりする人もいるかもしれません。

そこで私は、コロナ禍における感染症対策の推進を進めていただくことを要望します。具体的には、予備マスクの保管や着替える際に避難所内で使用できるテントの準備などです。

このような準備を行っていただくことで、コロナ禍における災害時の不安が少なくなり、安全で、安心して暮らせる旭市になっていくと思います。

以上のことから、私はコロナ禍における避難所での感染症対策の確認を要望します。



さんの質問に対して、旭市役所総務課長様から、「コロナ禍における避難所対策として、マスクやテント等の備品の準備、三密への対応、プライベート確保また、検温による健康チェック、体調不良者の別室対応等、対策を講じています。昨年度は2度避難所を開設し、感染症対策を実践してきました。」という回答がありました。

市内の小中学校から参加した20名の子ども議員の発言から、ふるさと旭を大切に思う気持ちが伝わってきました。

第2回 飯岡小チャレンジテスト実施!

第2回目の漢字チャレンジテストを9月7日(水)に行います。夏休み明けのテストとなりますが、がんばってほしいと思います。

子どもたちの心のケア

夏休み明け、「学校に行きたくない」「よく眠れない」等、お子さんのいつもと違う様子に気付きましたら遠慮なく学校にお知らせください。

飯岡小PTAバレーボールチーム

飯岡小PTAバレーボールチームは、5月から新メンバーで一生懸命練習に取り組んできました。しかし、感染症の再拡大により、8月20日に開催が予定されておりました旭市PTAバレーボール大会が中止となりました。選手の皆さんをはじめ、監督、コーチ、役員の方皆さん、暑い中での練習にご協力いただきまして、本当にお疲れ様でした。



練習試合の様子(対嚶鳴小)